

2013年3月期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2013年5月10日



(単位：億円)

	11年度	12年度			前年比 (%)	13年2月 公表値	達成率 (%)
	通期	上期	下期	通期			
売上高	1,318	624	640	1,264	-4.1	1,250	101.1
デバイス	953	473	484	957	+0.4	-	-
CCFL	20	6	3	9	-	-	-
PM	180	83	60	143	-20.6	-	-
PS	165	61	94	155	-6.1	-	-
営業利益	40	19	27	46	+15.0	45	102.2
経常利益	30	12	28	40	+33.3	35	114.3
当期純利益	4	4	20	23	+475.0	15	153.3

※前年比は本表に示した億円単位の数値から算出

2013年度 通期業績 予想

(億円)

	12年度 実績			13年度 予想			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	624	640	1,264	687	775	1,462	198	15.7
デバイス	473	484	957	544	606	1,150	193	20.2
CCFL	6	3	9	2	2	4	-5	-
PM	83	60	143	72	78	150	7	4.9
PS	61	94	155	69	89	158	3	1.9
営業利益	19	27	46	29	57	86	40	87.0
経常利益	12	28	40	22	50	72	32	80.0
当期純利益	4	20	23	10	37	47	24	104.3

【業績予想の前提】

- ・ 為替レート: 93円/US\$

基本方針

「売上規模拡大」

「グローバル化」

売上拡大

「エコ・省エネ グリーンエネルギー市場」

省エネ家電、IT・モバイル、LED照明、パワコン、センサ

「新興国市場」

「汎用品市場」

白物・車載・産機・AV

MOS・IGBT、モジュール

重点施策

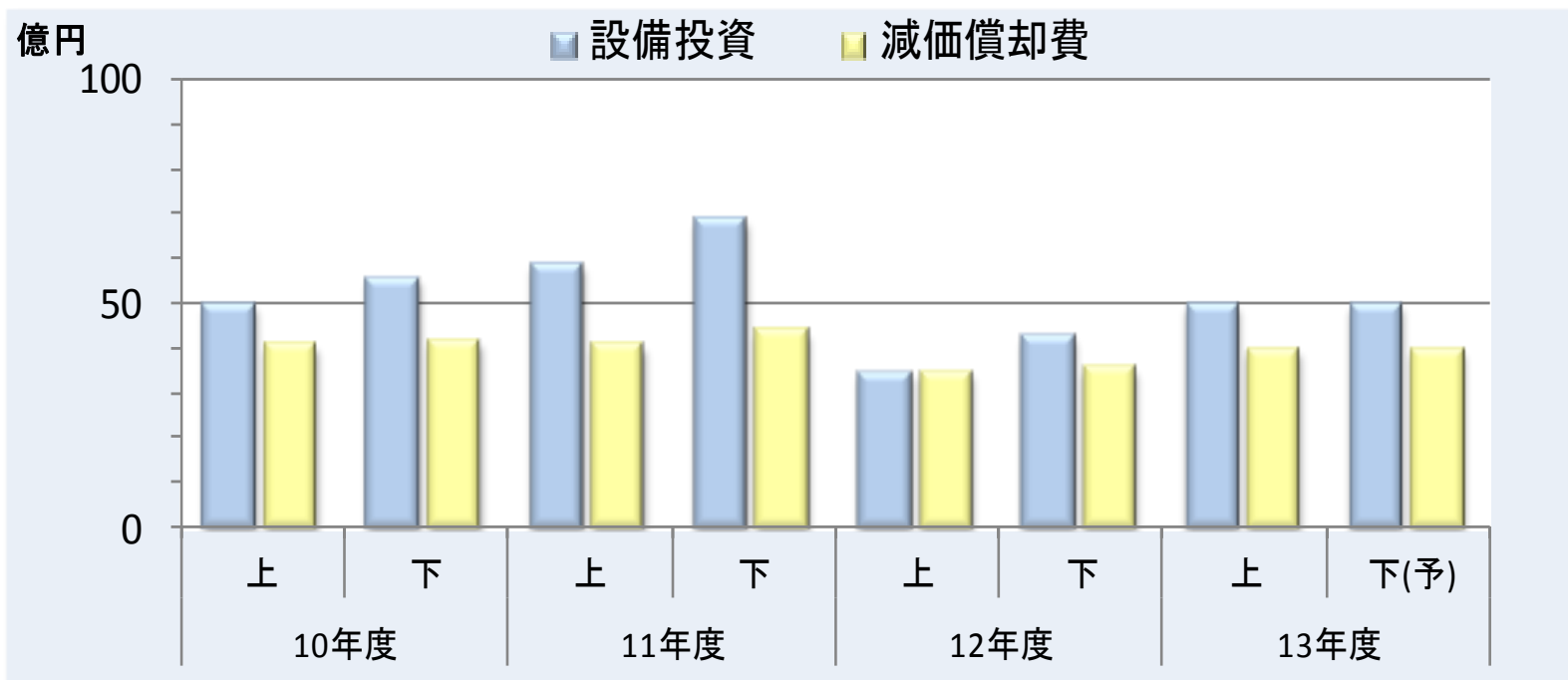
・デバイス 新市場・新製品で売上拡大

・LED 国内外灯具ビジネス拡大 車載参入

・PM 脱TVビジネスの確立 車載への展開

・PS 通信・官需に加え 民生(新エネ)市場へ拡大

・北米拠点 統括会社でスピード・効率追求



13年度 設備投資 100億円 (国内50)、減価償却費 80億円 (国内40)

国内	海外
石川 : 車載・白物向け増産投資	PSL : FabⅢ 8インチ フェーズ1
福島 : メジャー工程増強、LED照明	大連 : デバイス後工程 増強
	SKI : 車載ライン
	AMPI: センサー増産投資

将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。